

あんじょう 市議会だより

12月定例会



エネルギー会社で説明を受けるエネルギー政策特別委員会

特別委員会で先進事例などを調査



酒田市で説明を受ける議会基本条例策定特別委員会



習志野市で説明を受ける防災対策強化特別委員会

12月定例会のあらまし

平成24年第4回安城市議会定例会を12月3日～19日に開催しました。提出された「平成24年度安城市一般会計補正予算」など議案20件を原案どおり可決したほか、承認案1件を原案どおり承認、報告案3件の報告、諮問案1件を異議ない旨答申しました。また、提出された請願2件は、不採択となりました。4日・5日の一般質問には、12人の議員が市政の各方面にわたり質問しました。

本会議の詳しい内容は、市公式ウェブサイトの「市議会のページ」または3月上旬から市役所市政情報コーナー、中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。

目次

- 2 主な議案
主な議案質疑
委員会の審査
- 3 議案などの審議結果
- 4 一般質問のあらまし
- 7 行政調査報告
- 8 全員協議会・委員会の主な活動状況
3月定例会の開催予定ほか

主な議案

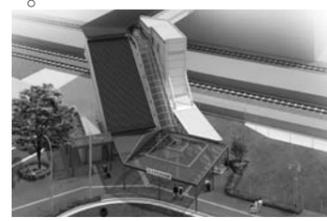
平成24年度12月補正予算10億5000万円余を増額

一般会計では、10億2300万円余を、特別会計では、4会計で2700万円余を増額しました。歳出の補正など主な内容は次のとおりです。
なお、一般会計の人員費は、全体で1400万円余の増額となりました。

■一般会計

- 総務費 9億1600万円余増
●財政調整基金積立金、市民会館西側駐輪場設置工事費など
●民生費 1500万円余増
●労働費 500万円余増
●助成金事業補助金など
●土木費 5300万円余増
●教育費 3000万円余増
●施設改修工事費など

●債務負担行為
問 JR安城駅北口エレベーター設置事業の概要と今後のスケジュールは。
答 平成25年4月初旬に工事着工し、同年12月下旬に完成予定と聞いている。エレベーター11人乗りの設置、地上部の通路整備、エレベーター上部の自由通路との接続で、概算事業費で1億2000万円。工事期間に七ヶ月が含まれるので、安全管理と早期の進捗を図るようJRにお願いしている。



完成予想図

■指定管理者の指定

問 市民交流センターの指定管理者に2団体の応募があり、選定委員会においてサンエイ㈱が選定された。それぞれの評価と点数差の主な理由は。
答 サンエイ㈱は、施設管理の評価が高く、ほかの1団体は自主事業や協働事業の取り組みが評価された。2団体の評価点数差21点のうち14点は管理料提案額の金額差であり、その他で7点の差となっている。

●債務負担行為 市民交流センター管理運営事業(1億6500万円/29)、防犯広報啓発推進事業(1000万円/25)、サルビア学園仮設園舎借上事業(1500万円/30)、ごみ焼却施設管理事業(5億3400万円/26)、道路側溝等新設改良事業(6000万円/25)、JR安城駅北口エレベーター設置事業(7800万円/25)、弥厚公園補修事業(3800万円/25)

指定管理者の指定

指定管理者を指定しました。
○安祥福祉センター・安祥児童センター↓(社)安城市社会福祉協議会を平成25年4月1日から1年間
○市民交流センター↓サンエイ㈱を平成25年4月1日から5年間

人権擁護委員の推薦

平成25年3月31日で任期満了となる加藤元恵氏の後任に、白谷隆子氏(城南町)を推薦することに決めています。異議ない旨答申しました。

議員提出議案による意見書を国へ提出

▽「自動車諸税の抜本的見直しに

についての意見書
地方への代替財源を制度的に確保することを前提として、自動車取得税および自動車重量税を廃止すること、自動車税における環境適応車への優遇措置を拡充することを国へ要望するものです。

主な議案質疑

■平成24年度一般会計補正予算
●労働費
問 雇用促進助成金事業補助金の申請状況と増額補正する理由は。
答 当初予算で10件300万円計上していたが、中小企業などの申請が増加したため、さらに10件300万円の増額をお願いする。

●債務負担行為

問 サルビア学園の現状と仮設園舎借上事業を計上した理由は。
答 定員30人、保育室4部屋であるが、現在緩和上限の35人まで受け入れしている。今年度20人が卒園や転園予定だが、平成25年度に新たに重度障害児28人がサルビア学園への入園を希望している。受け入れ人数に不足が生じるため、平成30年に発達支援センターに移転するまでのつなぎとして計上した。

委員会の審査

■平成24年度一般会計補正予算
●総務費
問 補正予算で財政調整基金に9億1000万円積み立てる必要があると考えているのか。
答 地方財政法に基づき、平成23年度の剰余金を積み立てる。過去には20億円以上確保しており、積立額は経済や剰余金の状況を見て考える。将来に向け積み立てる必要がある。



市民交流センター

■指定管理者の指定
問 市民交流センターの指定管理者の引き継ぎ方法は。
答 年明け早々に基本協定書を締結し、速やかで円滑な引き継ぎがされるよう調整を図っていく。

Table with columns: 12月定例会に提出された議案などの審議結果, 会派別賛否, 結果. Rows include various council proposals and their outcomes across different political groups.

※議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(共産党⇒日本共産党安城市議員団 公明党⇒公明党安城市議員団)

一般質問のあらまし

質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載しています。



安政会 石川 忍 議員



市政クラブ 深津忠男 議員



新政みどり 坂部隆志 議員



◆議会開催・傍聴のお知らせ

本会議や委員会は、当日受付で氏名と住所を記入するだけで傍聴できます。安城市議会では、議会の開催を広く市民の皆さんにお知らせする取り組みをしています。今年度は、定例会の会期をPRする横断幕を北庁舎壁面に、ポスターをあんくるバス車内や公民館に掲示し、チラシを町内会で回覧していただきました。

平成25年度予算の編成方針

問 予算編成の基本的な考え方でして5項目を掲げられているが、予算に込めた市長の思いは。
答 編成方針として、健全財政の堅持、「市民とともに育む環境首都・安城」の実現、地域経済の活性化と雇用の安定、子育て・教育環境の充実、市民生活の安全安心の継続を掲げた。「未来を紡ぐ新たな一歩」として精一杯取り組みたい。

中央図書館移転後の利用

問 更生病院跡地に整備される予定の拠点施設の一刻も早い完成を望むが、移転後の現在の中央図書館の利用について、市の見解は。
答 公民館図書室機能を残しながら、療育センターとサルビア学園の機能を移転させる。地域交流図書コーナーと発達障害児を支援する機能を併せ持った複合施設として整備していきたい。
◆このほかの質問：市長マニフェストの進捗状況、市役所本庁舎の耐震性の強化、地域特性を活かした魅力ある農業の推進

町内会要望について

問 各町内会の各種土木要望の平成23年度の実績は。
答 要望件数は1180件あった。採択件数は522件、実施件数は511件で、達成率は98%である。

明祥中学校区の福祉センター建設計画について

問 福祉センターと南部公民館などの複合施設を整備する期間中、利用できなくなる施設の代替案は。
答 改修期間中の仮設建物については、これまでの利用状況を踏まえ、地元のご意見を聞きながら、必要最小限のものを設置していく。

地震・防災対策について

問 南部地域の海抜は。防災備蓄倉庫を南部地域に配備できないか。
答 田園地帯で約0.06m、明和小で約7.3m、城ヶ入保育園で約8.9m。防災備蓄倉庫については、県が平成25年6月ごろに発表する各市町村の被害想定を踏まえ、防災・備蓄計画を見直し、検討する。
◆このほかの質問：西尾知多線の通学路整備、油ヶ淵水辺公園

自動車2税の廃止について

問 愛知県を始め8県の知事と自動車業界で自動車取得税・重量税の廃止を国に要請している。市長も、自動車産業が集積する近隣市長と連携して、自動車2税の廃止に向け議論の輪を広げてほしいが。
答 経済対策・雇用確保のために自動車取得税・重量税の廃止は望まれる。地方への代替財源の確保も含め、西三河9市など近隣各市と共同歩調で議論を進めていく。

中小企業支援対策について

問 新エネルギーやバイオテクノロジーなど高度先端産業分野における中小企業の工場立地に対して補助をし、新産業の誘致・雇用の創出を検討してはどうか。
答 高度先端産業分野における工場立地については、県と共同で支援をしていきたい。
集光型太陽光発電プラント



集光型太陽光発電プラント

いじめについて

問 いじめの認知件数は。
答 今年4月から9月までで、小学校67件、中学校116件、合計183件であった。



安政会 永田敦史 議員

就学援助制度の拡充を

問 生活保護基準額を基本にして対象者の拡大を。クラブ活動費など援助項目の拡大を。民生委員の証明は廃止にすべき。
答 近隣市の動向をみながら、認定基準を研究していく。クラブ活動費などを援助対象とすることは考えていない。市民税が非課税であるなど、認定理由が確認できる場合は民生委員の訪問を省略する。



共産党安城市議員団 深谷恵子 議員

市民活動への支援

問 市制施行60周年の市民公募事業など、市民が自主的に企画運営する事業が実施されている。今後どのように育てていくのか。
答 来年度、公募提案型事業を試行し、平成26年度からの本格実施につなげていきたい。行政へ協働事業を提案する市民提案型と、テーマに対して町内会やNPO法人、ボランティア団体などが実施する事業提示型の2つを想定している。



市政クラブ 太田安彦 議員

町内公民館建設補助について

問 町内会が業務を遂行するためには、拠点となる町内公民館が必要である。公民館のない町内会に対し、補助のあり方について善処してほしい。
答 町内会業務の拠点、地域コミュニティの醸成を図るための拠点として、町内公民館の必要性は十分理解している。少しでも公民館の建設がしやすくなるよう、補助制度の見直しを検討していきたい。



安政会 神谷清隆 議員

問 子どもたちを「徹底して守り通す」という姿勢が必要では。
答 いじめられていると意識している児童生徒の側に立ち、「徹底して守り通す」という姿勢を明示するとともに、いじめている側に対しては「人間として絶対に許されないことである」と徹底した指導をする。



いじめはやめよう!!

問 保護者にいじめの認知件数など、いじめの状況、実態を伝えるべきでは。
答 一概に各学校の認知件数やクラス別の認知件数を公開することが、信頼関係を構築することに直結するとは言い切れないと考える。

介護保険利用料軽減制度の周知徹底を

問 制度の該当者がもれなく利用できるよう、個人通知を含め周知徹底されたい。
答 チラシを作成し、介護認定の結果通知に同封している。ケアマネジャー研修会で周知しているが、事業者連絡調整会議、支援センター連絡会でも周知していく。

給食サービスの拡大

問 毎日給食サービスを希望する人が、利用できるようにすべき。
答 配食回数の拡充は、今後の利用状況の推移をみて対応したい。

新美南吉生誕百年記念事業

問 新美南吉を「まちづくり」や「ひとづくり」につなげていこうとする安城独自の取り組みがある。今後の具体的な事業の予定は。
答 3月に「没後70周年記念式典〜南吉先生を偲ぶ会〜」、7月に「南吉生誕百年祭」を開催する。「南吉のまち・安城」を楽しむことができるさまざまなイベントを開催し、「第60回安城七夕まつり」と連携し、象徴的な事業とする。



公共施設の更新について

問 旧更生病院跡地に図書情報館の建設が予定されている。今後、莫大な資金を要するハコモノについては、民間会計を導入し、年ごとに償却した部分の何割かを基金として積み立てていくという発想の転換が必要だと考えるが。
答 ご提案については、企業会計にならった新しい考え方として参考とさせていただきます。
中心市街地拠点施設の建設予定地



中心市街地拠点施設の建設予定地



新政みどり
おおよあきひと
大屋明仁議員

公園の整備について

問 安城市の公園面積は、市民一人当たり4.9㎡であり、愛知県の平均である7.3㎡、全国平均の9.8㎡と比べると低い水準にある。近年の公園の整備状況と今後の取り組みについて問う。

答 市内の都市公園の数・面積は、平成23年度末において94カ所、約88haである。今後、土地区画整理事業内の公園整備などを進めていき、市民一人当たりの公園面積が7.0㎡を確保できるように進めていく。



桜井中央公園

問 桜井南公園の今後の整備スケジュールは。

答 今年度、ワークショップで地域の皆様に公園の計画案を決めていただいた。この計画案に基づいて実施設計を取りまとめる。平成25年度に工事着手し、年度末に完了するよう整備を進めていく。

◆このほかの質問：緑の基本計画



公明党安城市議員
ほうふくよし
法福洋子議員

国民健康保険における医療費の適正化と健康増進について

問 生活習慣病、特に糖尿病放置者に保健師による訪問指導を行い、健康寿命の延伸を図ってはどうか。

答 市が実施する特定健診を受け、生活習慣病の発病の可能性が高い人が特定保健指導を利用する率は、平成23年度実績では10・4%となっている。今後、医師会なども連携して利用率向上に取り組む。



問 高齢者肺炎球菌予防ワクチン接種助成は、健康寿命の延伸、医療費の削減からも期待される。他市でも予算に上げているが、市の考えは。

答 西三河各市でも、医療費の削減効果が高く要望の多い助成事業の開始を、必要以上に延期することとは得策でないとの考えになってきた。本市も来年度の予算編成で助成事業に取り組んでいく。

◆このほかの質問：ジェネリック医薬品の利用促進、防災・減災対策、骨髄ドナー助成制度の創設

行政調査報告

各特別委員会の行政調査の概要を掲載します。

*議会基本条例策定特別委員会

●日程 10月2日・3日

●訪問先および調査事項

台風17号による安城市への直接的な被害が想定されたため、日程を短縮して実施した。栃木県小山市と山形県酒田市を訪問し、議会基本条例について調査した。

○小山市議会では、条例の基本理念を実現するための基本方針と今後の議会のあるべき姿として、「公平・公正・透明な議会運営」など、5つの方向性を定めていた。大学教授が条例の作成を手がけたこともあり、議員の理解度の格差をなくすために、逐条解説が大変詳しいことが特徴的だった。



小山市での調査風景

○酒田市議会では、条例制定までに、ほぼ週に1回のペースで委員会で協議・検討を重ねた。定例会後には議会報告会を開催し、議会活動などを市民へお知らせし、情報発信に努めていた。



共産党安城市議員
みやがわきんじろ
宮川金彦議員

高校生までの医療費無料化

問 市長公約の高校生までの無料化を「財源の確保が困難」として先延ばししているが、財政調整基金の積み増しなどを活用すれば平成24年1月から実施できたのではないか。

答 財政的には実施できないわけではないが、公約は子ども医療費無料化だけではない。医療費の7割を負担する健康保険組合など保険者の財政運営への影響も考慮する必要がある。県が福祉医療制度の見直し内容を決定する平成25年度以降に結論を出したい。

南安城駅のバリアフリー化

問 市長公約の名鉄南安城駅のバリアフリー化について、一定の見直しを示すことが必要ではないか。

答 南安城駅のバリアフリー化については、現時点では名鉄から具体的な整備計画・時期などは示されていない。新安城駅の橋上化の完成後に進めていく。



名鉄南安城駅

*エネルギー政策特別委員会

●日程 10月17日・19日

●訪問先および調査事項

○山口県宇部市を訪問し、環境政策について調査した。地の利を生かしたメガソーラー事業の推進や、ときわ公園のエコパーク化構想などが特徴的だった。中心市街地の空き店舗を利用した「まちなか環境学習館」は、波及効果をいかに地域経済へ及ぼすが課題となっていた。

○関西電力エネルギー開発(大阪府大阪市)を訪問し、中之島地区の河川水熱利用について調査した。河川に挟まれた地形を活かし、河川水熱エネルギーを冷熱源に利用した大規模な地域冷暖房である。河川水熱以外にも同様のシステム構築は可能とのことであり、ほかの事例も調査・研究していきたい。

○カンボリサイクルプラザ(京都府南丹市)を訪問し、バイオガスをシステムについて調査した。生ごみなど有機性廃棄物をバイオガス化し、発電や車両燃料に利用する施設である。生ごみの利用は、ごみ減量を推進する上でも課題となっており、実用化の調査・研究を進めていきたい。



バイオサイクル会社での調査風景



新社会
いしかわ
石川 翼議員

公共施設の予約

問 公民館などの施設を個人で利用することが難しい。一部団体に利用が偏っているケースはないか。

答 利用が重なった場合、利用者の話し合いで調整できない場合は公平に抽選しており、一部団体に偏っていることはない。



安城市体育館

社会保険料引き上げの影響

問 平成24年4月から、国民健康保険税、後期高齢者医療制度保険料、介護保険料が引き上げられた。今年度の納付状況に変化はあったのか。また、今後の見直しは。

答 10月末時点の前年度比で、国保税は0・94ポイント、後期保険料は1・31ポイント低下した。要因は、国保税の納期別端数処理単位の変更、後期保険料の口座振替率の増加による。今後の景気見通しが不透明で、若干の影響が出る懸念もある。前年度並みの収納率が維持できるよう努めていく。

*防災対策強化特別委員会

●日程 10月17日・19日

●訪問先および調査事項

○静岡県地震防災センターを訪問し調査した。平常時には地震防災について啓発や情報発信をし、災害時に自らの判断で的確に行動できる人材の育成に力を入れている。

○静岡県富士市を訪問し、自主防災会独自の避難運営マニュアルについて調査した。住民主体でマニュアルを作成し、女性担当の副本部長の配置、先行活動班の設置などを規定していた。また、訓練のつどマニユアルの見直しをし、地域住民による防災力の強化を図っていた。



富士市での調査風景

○千葉県習志野市を訪問し、液状化による被害と復旧対策について調査した。東日本大震災による液状化の被害からの完全復旧に向け、住民と行政で積極的な協議が行われていた。

○農林水産省を訪問し、農業用水路耐震対策について調査した。本市でも、大規模地震により明治用水が被災すると、安城駅や三河安城駅周辺が浸水することが想定されており、水路の耐震対策を早急に講じる必要があると感じた。

全員協議会・委員会の主な活動状況

*全員協議会

● 11月29日 実施計画(平成25<27年度)>について説明を受け、質疑をしました。

● 12月19日 中心市街地拠点整備事業実施方針・要求水準案)について説明を受け、質疑をしました。

*総務企画常任委員会

● 11月26日 実施計画(平成25<27年度)>について説明を受け、質疑をしました。

● 12月14日 第4回定例会で付託された一般会計補正予算1議案を審査し、原案どおり可決しました。

*経済福祉常任委員会

● 12月13日 第4回定例会で付託された請願2件と一般会計補正予算など7議案を審査し、請願は不採択とし、議案は原案どおり可決しました。

*市民文教常任委員会

● 12月12日 第4回定例会で付託された指定管理者の指定など2議案を審査し、原案どおり可決しました。引き続き部会を開き、第3次男女共同参画プラン、市民協働推進計画について説明を受け、質

疑をしました。

*建設常任委員会

● 11月29日 市民文教・建設合同部会を開き、中心市街地拠点整備事業計画、実施方針の検討経過について説明を受けました。

● 12月11日 第4回定例会で付託された手数料条例の一部改正など9議案を審査し、原案どおり可決しました。

*議会運営委員会

● 11月26日・12月14日 第4回定例会の議事運営を協議しました。

*議会改革検討委員会

● 11月26日 諮問事項「議員定数の削減」について協議しました。

*議会基本条例策定特別委員会

● 10月18日・11月19日 条例案について協議しました。

西三河四市議会議員合同研修会

● 11月15日 知立市文化会館にて、岡崎・豊田・知立市と合同で研修会を開催しました。

○講師 中邨章氏(明治大学名誉教授・日本自治体危機管理学会会長)

○演題 「自助と公助のはざまー地方議会の改革と危機への備え」

3月定例会の開催予定

3月4日(月)	開会・議案説明・施政方針
5日(火)	代表質問
6日(水)	一般質問
8日(金)	一般質問
11日(月)	議案質疑
13日(水)	建設常任委員会
14日(木)	市民文教常任委員会
15日(金)	経済福祉常任委員会
18日(月)	総務企画常任委員会
22日(金)	採決・閉会

開催時刻はいずれも午前10時の予定です。

請願・陳情提出締切りは、2月22日(金)です。

ケーブルテレビの録画放映

3月4日の市長施政方針、5日の代表質問、6日・8日の一般質問の様子が、キャッチネットワーク106チャンネルで録画放映されます。(チャンネルが変更されています)

[放映日] 4日収録分⇒5日(火)午前7時、正午、午後4時
5日収録分⇒14日(休)午後6時
6日収録分⇒18日(月)午後6時
8日収録分⇒21日(休)午後6時

代表・一般質問の録画を視聴できます

代表・一般質問の録画映像をインターネットで配信しています(過去2年分)。「市議会のページ」の「議会映像ネット配信」から視聴できます。3月定例会の代表・一般質問の様子は、質問終了後、おおむね2週間後からご覧いただけます。

市議会のページ⇒⇒⇒

市議会だより編集委員会

◎=委員長 ○=副委員長

◎坂部隆志 ○杉山 朗
法福洋子 石川 翼 松尾学樹
鈴木 浩 二村 守 辻山秀文
今井隆喜 深谷 恵子

ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【宛先・問い合わせ】安城市議会事務局
〒446-8501 安城市桜町18番23号 Tel. 71-2252 Fax. 77-8200 Eメール: giji@city.anjo.aichi.jp